

鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	鉄道車両
1	交通論
1	鉄道旅行プランニング
1	鉄道業界研究
1	サービス介助士
1	就職活動講座
1	就職筆記試験対策Ⅰ
1	就職筆記試験対策Ⅱ
1	面接対策
1	ペン字
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道旅行プランニング
2	フレッシュヤーズ教育
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーション学

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 運転理論の意義を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1. カリキュラムの説明 2. 主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3. 用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にす			
2回	鉄道の標識①		1. 標識の意義 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする			
3回	鉄道の標識②		1. 標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る			
4回	鉄道の標識③		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
5回	鉄道の標識④		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
6回	鉄道の標識⑤		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
7回	鉄道車両紹介①		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る			
8回	鉄道車両紹介②		1. 九州の鉄道会社 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
9回	鉄道車両紹介③		1. 九州の鉄道会社-2 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
10回	鉄道車両紹介④		1. ワンマン列車の特徴を知る ・ワンマン車両の基本 ・ワンマン列車の規定を学ぶ			
11回	運転理論①		1. 運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ			
12回	運転理論②		1. けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2. 車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3. けん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ			
13回	期末試験対策		1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	まとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道の総合的な専門知識の習得と、安全に対する意識を向上させる。 鉄道従事員の業務及び、就活に向けての心構え			授業形態	講義	
到達目標	事故の種類や運転方法の変更、鉄道従事員のヒューマンエラー防止について学ぶ。					
使用テキスト	PP作成資料・分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期授業の振り返り 後期授業の内容と進め方を説明する。				
2回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車が止まる原理を理解する。 集電装置・主電動機・主制御機について学ぶ。				
3回	鉄道車両(西鉄)	西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の重要性と行程を学ぶ。 出庫点検のDVDを参照する。				
4回	鉄道信号の役割	鉄道信号の前期復習 役割について解説を行う。 手信号の種類と代用手信号について学ぶ。				
5回	閉そく方式	通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。				
6回	伝令法	駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。				
7回	列車の運転	原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。				
8回	鉄道の設備	電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。				
9回	鉄道運転事故	事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。				
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報の発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。				
11回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
12回	運転保安装置	保安装置の種類を知る。信号・踏切保安装置について学ぶ。 ATSの設備目的と運転士の注意について(ATS故障時の取扱いと注意点) 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。				
13回	乗務員の資質管理 期末試験対策	西鉄の乗務員の資質管理 乗務員のあり方、苦楽について 後期授業の復習				
14回	期末試験	期末試験				
15回	後期まとめ	期末試験の解説 後期の授業を振り返り、全体の質疑を行う。				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役割及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う			
2回	鉄道乗務員①		1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける			
3回	鉄道乗務員②		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
4回	鉄道乗務員③		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
5回	鉄道運行に関わる係員		1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ			
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように構成れるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ			
8回	事故事例研究①		1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
9回	事故事例研究②		1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
10回	事故事例研究③		1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
11回	事故事例研究④		1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
12回	鉄道運行に関わる係員		1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	まとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明				
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界における車両普及内容 3.運転内容説明				
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ				
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件について学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る				
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ				
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ				
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ				
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ				
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ				
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
12回	電車・気動車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	交通論			クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通に関する基礎知識を習得するとともに、特に鉄道事業を中心に、業界の運営状況、経営課題等を学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	鉄道及びその付帯事業等の従事員となるための基本的資質の養成・向上を図る。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバス、講義の進め方等の説明 交通論を学ぶ、意義・目的、基礎用語 交通関連トピックスの解説			
2回	交通の基礎理論	交通の定義とは 交通関連トピックスの解説			
3回	〃	交通の意義とは 交通関連トピックスの解説			
4回	〃	交通と経済 業界別ビジネスモデル(鉄道) 交通関連トピックスの解説			
5回	〃	業界別ビジネスモデル(航空機) 交通関連トピックスの解説			
6回	〃	業界別ビジネスモデル(バス、船舶、その他) 交通関連トピックスの解説			
7回	交通政策史	鉄道の政策史 交通関連トピックスの解説			
8回	〃	鉄道及び陸運事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
9回	〃	航空事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
10回	〃	海運事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
11回	鉄道概論	日本の鉄道史 都市鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説			
12回	〃	地方鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説			
13回	〃	都市型交通システム 交通関連トピックスの解説			
14回	〃	九州の鉄道の現状と経営戦略 期末試験			
15回	まとめ	まとめ・振り返りと要点整理 期末試験解説			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道業界研究			クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。			授業形態	講義
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。				
使用テキスト	鉄道業界大研究				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方		企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ		
2回	西鉄について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
3回	JR九州グループ について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
4回	JR四国について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
5回	JR東海・JR北海道 について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
6回	JR西日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
7回	JR東日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
8回	東京メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1		
9回	東急、東武、西武		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
10回	京急、京王、京成		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
11回	小田急、相鉄、名鉄		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
12回	阪急(阪神)、 大阪メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2		
13回	近鉄、京阪、南海		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道		第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を 求人が来たら応募できる準備をする		
15回	期末テスト 一年間のまとめ		期末テスト これまでの鉄道業界研究を総復習し、就職試験に活かす		

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	サービス介助士			クラス	M
担当講師(フルネーム)	吉田紀子、大隈多恵、守田久実子			実務経験	無
授業概要(内容)	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、障害の社会モデルの考えを理解し、心のバリアフリーについての理解を深める			授業形態	講義
到達目標	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す				
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回 9/9	・オリエンテーション ・多様な社会を考える ・共生社会の実現をめざして ・SDGsを考える		・教材受け渡し 受講票確認 自己紹介 ・「サービス介助士」を学ぶ意義 これからの社会を考える 多様性(ダイバーシティ)を受け入れる必要性 ・企業が取り組むSDGsについて サービス介助士との繋がりは		
2回 9/30	・基本理念 ・接遇の捉え方 ・ホスピタリティ		・サービス介助士の基本理念 サービス介助士の接遇の概念 ・ホスピタリティとは		
3回 10/7	・ノーマライゼーション		・ノーマライゼーションの基本的な考え方		
4回 10/21	・障害者差別解消法 ・障害の捉え方(社会モデル)		・障害者差別解消法を理解する ・社会モデルの捉え方を理解、合理的配慮につなげる		
5回 10/28	・高齢社会の理解		・高齢者社会の現状を知る		
6回 11/11	・高齢者への理解と接遇		・加齢による身体変化を知り、合理的配慮を考える		
7回 11/18	・ジェロントロジー		・「創齡学」自分の人生を考える		
8回 11/25	・車いす使用者への接遇		・車いす使用者の障壁を考える ・車いすの種類、部分の名称、操作の注意点		
9回 12/2	・聴覚障害者への接遇		・聴覚障害について ・聴覚障害者の困りごと、原因を考える		
10回 12/9	・視覚障害者への接遇		・視覚障害について ・視覚障害者の困りごと、原因を考える		
11回 12/16	・円滑なコミュニケーション(接遇)		・言語による接遇 ・外見や行動による接遇		
12回 1/6	・知的・発達・精神障害者への接遇		・知的障害、発達障害、精神障害の概要 ・困りごとを考える ・皆さんにできることは？		
13回 1/20	・身体障害者補助犬		・身体障害者補助犬法を知る		
14回 1/27	・ユニバーサルデザイン ・いろいろなマーク ・バリアフリー設備の理解		・身近なユニバーサルデザインを知ろう ・日常よく見かけるマークや気をつけて見ていただきたいマーク ・必要性を理解する(オストメイト用設備、カムダウンルーム、バギー型小児用車いす)		
15回 2/3	期末試験		授業内での期末試験 範囲:今まで学んだ部分 ・実技教習について説明		

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成①	IBCに入学して学んだこと、できるようになったこと、成長したと感じることを分析する				
8回	自己PR作成②	IBCに入学して成長したことを認識し、前期作成した自己PRからレベルアップして完成させる				
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しし、また後期に入って取り組んだことをまとめて、IBCに入学後の学生時代頑張ったことを完成させる				
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策 I			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	「一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく」Gakken					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	なぜSPIをするのか		SPI検査の目的と内容を知る SPI言語:同意語(意味や内容が近い語) 夏休み課題提出			
2回	日本の特産物(1)		四字熟語テスト① 夏休み課題を6回に分けて小テストを行なう 日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	日本の特産物(2)		四字熟語テスト② 日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)			
4回	世界の特産物(1)		四字熟語テスト③ 世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:ことばの意味②(意味に適合する語句)			
5回	世界の特産物(2)		四字熟語テスト④ 世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	日本史(1)		四字熟語テスト⑤ 日本史① 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を整理する SPI言語:原料(加工物とその原料)			
7回	日本史(2)		四字熟語テスト⑥ 日本史② 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:包含・用途・機能関係			
8回	世界史		世界史: 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:行為関係			
9回	日本文化史		時代ごとの文化・芸術を整理し、理解する SPI言語:ことわざ・慣用語			
10回	名言・名句		思想史: 思想家の名言・名句・著書を学ぶ SPI言語:熟語の成り立ち			
11回	発明・発見		世界の発明・発見家を学ぶ SPI言語:文の並べ換え			
12回	文学史		主な文学作品とその著者を学ぶ SPI言語:空欄補充(適文・適語)			
13回	労働・社会保障		日本の労働・社会保障のしくみについて学ぶ SPI言語:空欄補充(三文完成)			
14回	期末試験		後期期末試験を実施する			
15回	後期のまとめ		期末試験のフィードバック 世界遺産、環境問題 SPI言語:長文読解			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科 夜間総合観光科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	M Z
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後の形式はWeb試験がメイン。WebとPaperは内容がかなり異なります。鉄道各社 ホテル 旅行会社の過去問を中心にできるだけわかりやすく講義します。この科目は復習に力を入れてください。SPIなどの試験に合格しないと面接に進めません。能力検査試験の合格に向けて一緒に頑張ります。			授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道その他の私鉄 ホテル エアライン系企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力の修得				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	損益算の復習	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ			
2回	順列	数学Bプリント全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P = \frac{n!}{(n-r)!}$ Permutation 重複順列 n^r 円順列 $(n-1)!$ 数珠順列 $(n-1)! \div 2$ 基本問題集B			
3回	組み合わせ	全体の数nの中からr個を選ぶ時の選び方 nCr $C = \frac{n!}{r!(n-r)!}$ (階乗) 重複組み合わせの公式 $hCr = n+r-1Cr$ 基本問題集B			
4回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
5回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
6回	推論	基本問題集Bプリント p194~p222 推論 順位 平均点 フローチャート			
7回	位置 順列	基本問題集Cプリント p172~194 位置の問題 順列 重複順列 問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。			
8回	勝敗	基本問題集Cプリント p172~p194 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式			
9回	確率	基本問題集Dプリント p172~p194 サイコロ コインを使った確率問題 $p(\text{probability}) = N(\text{全体の場合の数}) \div a(\text{求める場合の数})$			
10回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1~問12 推論 6個の玉を箱PQに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいか聞いた 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は			
11回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13~問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?			
12回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26~問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?			
13回	SPIテストセンターAプリント	推論 問1~問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成			
14回	後期試験実施	試験終了後 テストセンターの過去問			
15回	後期試験解答解説	解答に至る筋道 論理なぜそうなるのか 構造的把握力検査の内容 2年次に使用するプリントの配布			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	面接対策講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「好印象」を勝ち取るための表現(振る舞い・話し方)を実技にて体得する			授業形態	実技	
到達目標	就職面接に合格することを目標にし、社会人としての相応しいマナーを身に付ける					
使用テキスト	配布プリント 制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	就職試験にむけて		授業の進め方についての説明 受講の心構え(身だしなみ、お辞儀) 面接意義、その種類と特質について理解する			
2回	求められる人材とは		企業に「求められる人材」についてワークを通じて理解する ビジネスマンとして求められる能力の説明			
3回	面接		面接での表現とは 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声① 自己紹介			
4回	集団面接1		入退室 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声② 実技4～5名			
5回	集団面接2		入退室 話す、聞く、答える③ 実技4～5名			
6回	集団面接3		入退室 話す、聞く、答える④ 実技4～5名			
7回	集団面接4		好印象の質疑応答 実技4～5名			
8回	集団面接5		好印象の質疑応答 実技4～5名			
9回	集団討議1		討議の進め方の説明			
10回	集団討議2		身近な問題をテーマに討議の実践①			
11回	集団討議3		日本の掲げる問題をテーマに討議の実践②			
12回	集団討議4		SDGSに関するテーマを選び討議の実践③			
13回	期中試験		集団面接形式			
14回	期中試験		集団討議形式			
15回	まとめ		第1回～12回の振り返り 自分の課題を明確にし後期の目標にする			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	ペン字			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	しんがき佐世			実務経験	無	
授業概要(内容)	相手に好印象を与える手書きを習得、用途に合わせた書式を身につける。 ていねいに手書きに取り組む過程で、人間性を高める。			授業形態	講義&演習	
到達目標	ペン字・筆ペン練習を通して社会人の教養を身につける。落ち着いた文字を書き自己肯定感を上げる。					
使用テキスト	テキストなし(コピー対応)・下敷き・ペン2種類・筆ペン口					
成績評価方法	提出物70% 授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	15回で目指すゴールを共有し、生徒それぞれの目標を明確化する(履歴書、自己PRなど) BeforeとAfterで文字の成長を実感するため、Beforeの筆記で現状把握する 文字で自己紹介				
2回	ひらがなの基本	ひらがなの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいひらがなを書く 字は体を表す：なりたい自分や在りたい自分を言語化し、文字にする				
3回	カタカナの基本	カタカナの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいカタカナを書く 日常で多用するカタカナ用語を練習する				
4回	漢字(楷書)の基本	漢字の特徴を捉えて、バランスの取れた美しい漢字を書く 字形の整え方、部首名、ひらがなやカタカナとのバランス 四字熟語を書く：履歴書や自己PRにも使える				
5回	タテ書きの基本	タテ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたタテ書きの基本を押さえる 自分の名前前の漢字バランスを捉えて練習する 座右の銘を書く：履歴書や自己PRにも使える				
6回	ヨコ書きの基本	ヨコ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたヨコ書きの基本を押さえる 自己肯定感を上げる(コーピング)リスト、下げるリストをヨコ書きする				
7回	筆ペンの基本(1)	筆ペンの基本を知り、適正な姿勢で楷書体を書き練習する 自分の氏名を美しく書く、「様」の練習(打ち込み45度、止め、はねの角度) 座右の銘を書く：筆ペンに慣れる				
8回	(実践) はがき・手紙を書く	はがき、封筒、それぞれの書式を学習する 手紙文の書き方を学習する 実践：手紙本文を書く				
9回	(実践) お礼状を書く	お礼状の目的を知り、書式を学習する 実践：一筆箋を書く				
10回	(復習) ひらがな、カタカナ、漢字	ひらがな、カタカナ、漢字の書き方を復習する 古典名言を書く：自己肯定感を上げる				
11回	(復習) ペン字/筆ペン(2)	タテ書き・ヨコ書きの書き方を復習する ビジネスでよく使うひらがな・カタカナを練習する 自己PR：座右の銘を筆ペンで書く				
12回	(実践) 履歴書を書く(1)	履歴書の目的を知り、書式を学習する 氏名、住所をバランスよく書く ※学校指定の履歴書用紙を使用				
13回	(実践) 履歴書を書く	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する 学歴、資格欄をバランスよく書く				
14回	(実践) 履歴書を書く	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する アラビア数字、アルファベットを丁寧に書く 自己PR、打ち込んできたことなどフリースペースを書く				
15回	まとめ	手書きのポイントのおさらい、履歴書の鉄則 BeforeとAfterの提出物で成長を確認する 自分自身へポジティブフィードバック&伸び代フィードバックの手紙を書く				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する			授業形態	講義&演習	
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ				
2回	駅構内ダイヤの解説	1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ				
3回	ダイヤグラム作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	ダイヤグラム作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う				
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる				
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を経験し、乗務員に対する意識を実感させる				
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
2回	踏切及び人身事故①	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
4回	停車に関わる取扱い	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
5回	運転審査を学ぶ	1. 運転士の国家試験を学ぶ ・試験内容を把握する ・運転審査の状況をモックアップを使用して再現する				
6回	異常事対応能力実践①	1. 鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
7回	異常事対応能力実践②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
8回	駅作業ダイヤ①	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
9回	駅作業ダイヤ②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2. 車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
10回	駅作業ダイヤ③	1. 鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
11回	法定労働に関する取扱い	1. 乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
12回	休日勤務に対する取扱い	1. 鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2. 休日労働に対する考え方 3. 年次有給休暇の取扱い				
13回	期末試験対策	1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いたのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明			
2回	鉄道の旅①		1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う			
3回	鉄道の旅②		1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に合ったプランニング作業を行う			
4回	定期観光バスの旅①		1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
5回	定期観光バスの旅②		1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
6回	船舶の旅①		1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
7回	船舶の旅②		1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
8回	航空の旅①		1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
9回	航空の旅②		1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う			
10回	各種切符の旅①		1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業			
11回	各種切符の旅②		1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業			
12回	ポスター作成①		1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成			
13回	ポスター作成②		1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成			
14回	発表用プログラム作成②		1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定			
15回	まとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	フレッシュエース教育			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、鉄道業界での事例を踏まえ学習する。			授業形態	講義
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ				
使用テキスト	・講師作成プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて			
2回	社会人の基礎について学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。			
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る			
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシミュレーションする			
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ			
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える			
7回	できる新入社員と言われ る ためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえないビジネスマナー			
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤			
9回	マイクロリズム プランニング	近場の魅力を再発見するため、日帰り、または一泊二日の一人旅を企画			
10回	マイクロリズム プランニング 発表会	前週に作成したプランを各自で発表する			
11回	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを目指す			
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する			
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う			
14回	セルフケア	自分自身で心や身体についてケアするためストレス対処法や 心の健康において良くない状態であればそれを改善し、 良い状態であればそれを保ちながら、さらに良くするためにケアする方法を学ぶ			
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害者への手話による応対ができ、手話で表現する			授業形態	講義&演習	
到達目標	日常会話程度の接客手話と手話パフォーマンスの作成					
使用テキスト	接客手話、プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	一年のことを話しましょう	時間の表し方				
2回	パーティーのことを話しましょう	日常生活の場面での手話 疑問詞				
3回	旅行の事を話しましょう	旅行に関する手話				
4回	病院のことを話しましょう	病気に関する手話				
5回	学校のことを話しましょう	手話の読み取りレベルを上げる				
6回	職場のことを話しましょう	職場に関する手話 聴覚障害者の職場環境				
7回	接客手話	聴覚障が者のお客様に対するサービスの在り方				
8回	聴覚障害者のくらし	聴覚に障害のある人、デフミリーの生活				
9回	卒業制作への取り組み	これまで学んだ手話をつかって卒業制作を考える				
10回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用し発表のための活動				
11回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用し発表のための活動				
12回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用し発表のための活動				
13回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用し発表のための活動				
14回	卒業制作への取り組み	実技テスト(予備)				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	コンピュータ			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末テスト40% 提出課題40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Excel基礎	タイピングレッスン 前期振り返り 基本的な表作成と計算式、テンキーレッスン				
2回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 一般的な関数、相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数、VLOOKUP関数)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(IF関数、VLOOKUP関数)				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
8回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
9回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 各種検定問題にチャレンジ①				
11回	Office活用	クリスマスパーティのDMを作ろう① Excelで名簿作成 WordでDM用チラシ作成				
12回	Office活用	クリスマスパーティのDMを作ろう② DM仕上げ Word差し込み印刷機能でDMに宛名挿入				
13回	Excel応用	タイピングレッスン 各種検定問題にチャレンジ②				
14回	Excel応用	タイピングレッスン 各種検定問題にチャレンジ③				
15回	後期期末試験					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーション学			クラス	N
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義
到達目標	社会で活躍できる人材になる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために			
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング			
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク			
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは			
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる			
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール			
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値			
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方			
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり			
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか			
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり			
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク			
13回	スピーチ1分	課題			
14回	スピーチ3分	課題			
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美			